

Starling SVによるSVV値、受動的下肢挙上テストの輸液反応性予測能の検討

1. 研究の対象

当科管理で集中治療室入室となる急速輸液が必要な敗血症患者

2. 研究目的・方法

Starling SVは体幹部に電極を貼付するのみでCO、SV、SVVなど各種循環動態パラメーターを測定できる無侵襲の循環モニタリング機器である。日本で臨床使用されて間もないStarling SVの敗血症患者における輸液反応性予測能について検討し、有用性を検討する。有用性が証明されれば今後、敗血症患者における輸液戦略を方針決定する一助となり過剰過小輸液を防ぐことが可能となる。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：SVI、SVV、MAP、HR、TFC等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 総合診療科 杉本 龍

TEL：096-351-8000(代)

研究責任者：

済生会熊本病院 救急科部長 前原 潤一

以上